

# 水稲作況試験情報 【令和2年産 普通期栽培】

香川県農業試験場（成熟期）

7月は最高気温が平年に比べ低く、8月から9月2半旬までは最高気温、最低気温とも高く推移した。降水量は7月2～3半旬に平年に比べ多く、8月は全くなかった。出穂期は過去5か年の平均値に比べ、コシヒカリで1日遅く、ヒノヒカリ、おいでまいで1日早かった。成熟期はコシヒカリで1日、ヒノヒカリで5日、おいでまいで6日早かった。稈長はいずれの品種とも過去5か年の平均値と同程度で、穂長はやや長く、穂数は少なかった。

## 1. 作況試験の方法

- 1) 供試品種：コシヒカリ、ヒノヒカリ、おいでまい
- 2) 播種期：5月29日 移植期：6月19日
- 3) 育苗方法：播種後、加温出芽させ、その後露地育苗した。
- 4) 栽植密度及び移植方法  
18.5株/m<sup>2</sup>（30cm×18cm）、1株4本程度、機械移植  
なお、生育調査株は移植直後1株4本に調整した。
- 5) 本田施肥（N成分kg/a）

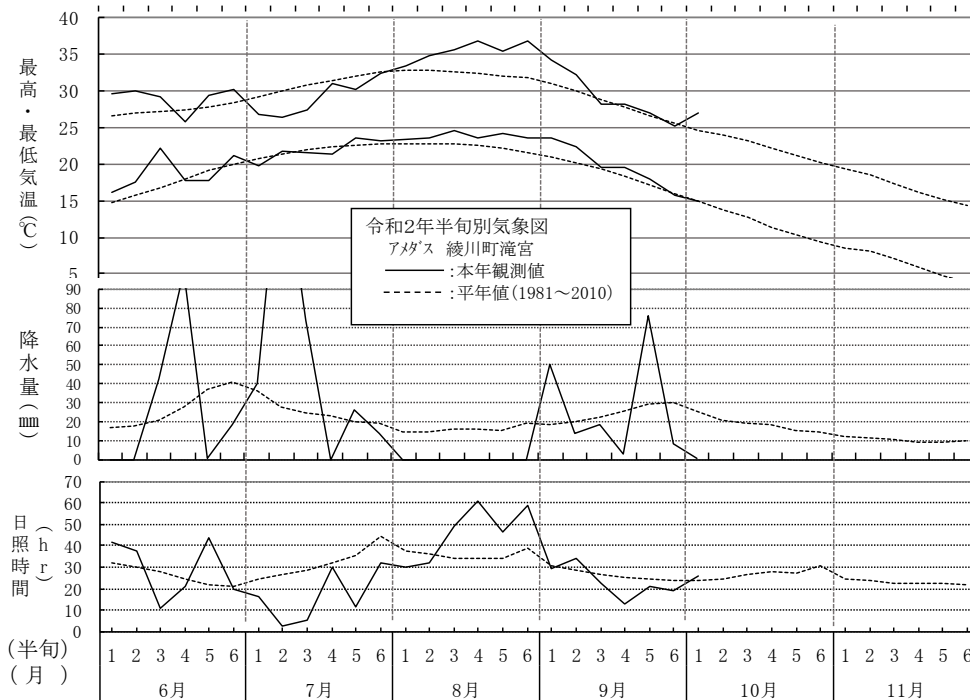
	基肥	穂肥Ⅰ（施用日）	穂肥Ⅱ（施用日）
コシヒカリ	0.3	0.15(8/4)	0.10(8/11)
ヒノヒカリ	0.5	0.25(8/13)	0.15(8/19)
おいでまい	0.5	0.25(8/14)	0.15(8/20)

6) 使用肥料：化成肥料（N：P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>：K<sub>2</sub>O＝14：10：13％）

7) 1区面積及び区制 1区250m<sup>2</sup>（コシカ 500m<sup>2</sup>）、2反復

## 2. 具体的データ

令和2年産水稲 気象表（10月1半旬まで）



注) 7月2半旬の降水量は、167.5mmであった。

令和2年産 水稲作況試験生育調査結果

調査 (月/日)	供試品種 項目	コシヒカリ			ヒノヒカリ			おいでまい		
		本年	過去5か年 平均値	差(比)	本年	過去5か年 平均値	差(比)	本年	過去5か年 平均値	差(比)
移植時 (6/19)	草丈(cm)	17.5	13.0	4.5	14.2	11.3	2.9	12.6	11.6	1.0
	主稈葉数(枚)	2.9	2.5	0.4	2.8	2.7	0.1	3.0	2.7	0.3
田植20日後 (7/9)	草丈(cm)	35.9	37.6	▲ 1.7	30.6	30.9	▲ 0.3	32.7	33.2	▲ 0.5
	莖数(本/m <sup>2</sup> )	187	223	▲ 16 %	270	246	10 %	275	264	4 %
	主稈葉数(枚)	7.1	7.4	▲ 0.3	7.4	7.6	▲ 0.2	7.4	7.7	▲ 0.3
田植30日後 (7/19)	草丈(cm)	54.7	56.0	▲ 1.3	51.1	47.2	3.9	50.4	45.2	5.2
	莖数(本/m <sup>2</sup> )	348	504	▲ 31 %	438	535	▲ 18 %	512	617	▲ 17 %
	主稈葉数(枚)	9.1	9.8	▲ 0.7	9.3	9.9	▲ 0.6	9.3	10.2	▲ 0.9
田植40日後 (7/29)	草丈(cm)	72.8	74.3	▲ 1.5	68.7	67.4	1.3	67.4	64.2	3.2
	莖数(本/m <sup>2</sup> )	480	515	▲ 7 %	596	555	7 %	706	658	7 %
	主稈葉数(枚)	10.6	11.3	▲ 0.7	10.8	11.4	▲ 0.6	11.2	12.0	▲ 0.8
播種期(月/日)		5/29	5/30	▲ 1	5/29	5/30	▲ 1	5/29	5/30	▲ 1
移植期(月/日)		6/19	6/20	▲ 1	6/19	6/20	▲ 1	6/19	6/20	▲ 1
幼穂形成始期(月/日)		7/27	7/28	▲ 1	8/5	8/6	▲ 1	8/7	8/8	▲ 1
出穂期(月/日)		8/15	8/14	1	8/26	8/27	▲ 1	8/26	8/27	▲ 1
主稈止葉葉位(枚)		12.9	13.2	▲ 0.3	13.8	14.3	▲ 0.5	14.4	15.2	▲ 0.8
穂数(本/m <sup>2</sup> )		354	391	▲ 9 %	335	387	▲ 13 %	392	408	▲ 4 %
稈長(cm)		86.2	84.4	1.8	78.2	78.7	▲ 0.5	75.6	77.3	▲ 1.7
穂長(cm)		19.3	17.4	1.9	18.9	17.3	1.6	20.0	18.4	1.6
成熟期(月/日)		9/17	9/18	▲ 1	10/3	10/8	▲ 5	10/2	10/8	▲ 6

注1) コシヒカリ、ヒノヒカリ、おいでまいの差は過去5か年平均との比較で示した。

注2) 莖数・穂数については対比(増減%)で表し、これ以外の項目については対差(実数値)で表した。なお▲は少ない、短い、早いことを示す。